

国際演習A2

グリーンアジア国際リーダー教育センター 助教
前 奈緒子

国際演習Aとは、社会学系教員が総括リーダーとなり、講義(外部講師を含む)、グリーンアジアの理念に沿った課題を据えたセミナーと討論会を月1回の頻度で開催する。この演習を通じ、学生は独自の研究課題(科学技術論、社会・産業論)を見だし、総括リーダー、MCUの支援を受けながら研究を進める。全体的な流れは以下の図ようになる。

最終的に、自身の研究について発表するとともに、その課題に関するセミナーのリーダーとなって議論を総括し、その成果を踏まえ、「グリーンアジア自由課題論文」を作成、第4ステージゲートに臨む。審査に合格した論文は、本プログラムの自主ジャーナル「EVERGREEN」に掲載する。さらに、社会学系教員と学生の連盟による学術誌などへの論文投稿を目指す。

国際演習A2(第7期)では、A1(第6期)で決定したテーマや方法論に従って、月1回のミーティングを重ねながら、調査・研究を継続して行った。学生は社会科学的思考の仕方に触れたばかりということもあって、本演習の趣旨を捉え、自身の研究課題を決定するのに多くの時間を要した様である。しかし、月1回のミーティングで先生や他の学生からの意見や疑問を述べられることで、自身の研究課題の模索の仕方やどのような視点が足りないかを認識し、内容を更に発展させてきた。博士研究が社会や経済どのように関わりがあるのかを考えることで、自身の研究に厚みを持たせているようである。つまり、この授業で新たな視点を得たことにより、自身の研究に関する視野が広がったと考えられる。今後も提案書を基に月1回の講義や全体ミーティングを踏まえ、調査・研究を継続していく予定である。

